

# 道内の感染状況等について

【令和4年12月15日】

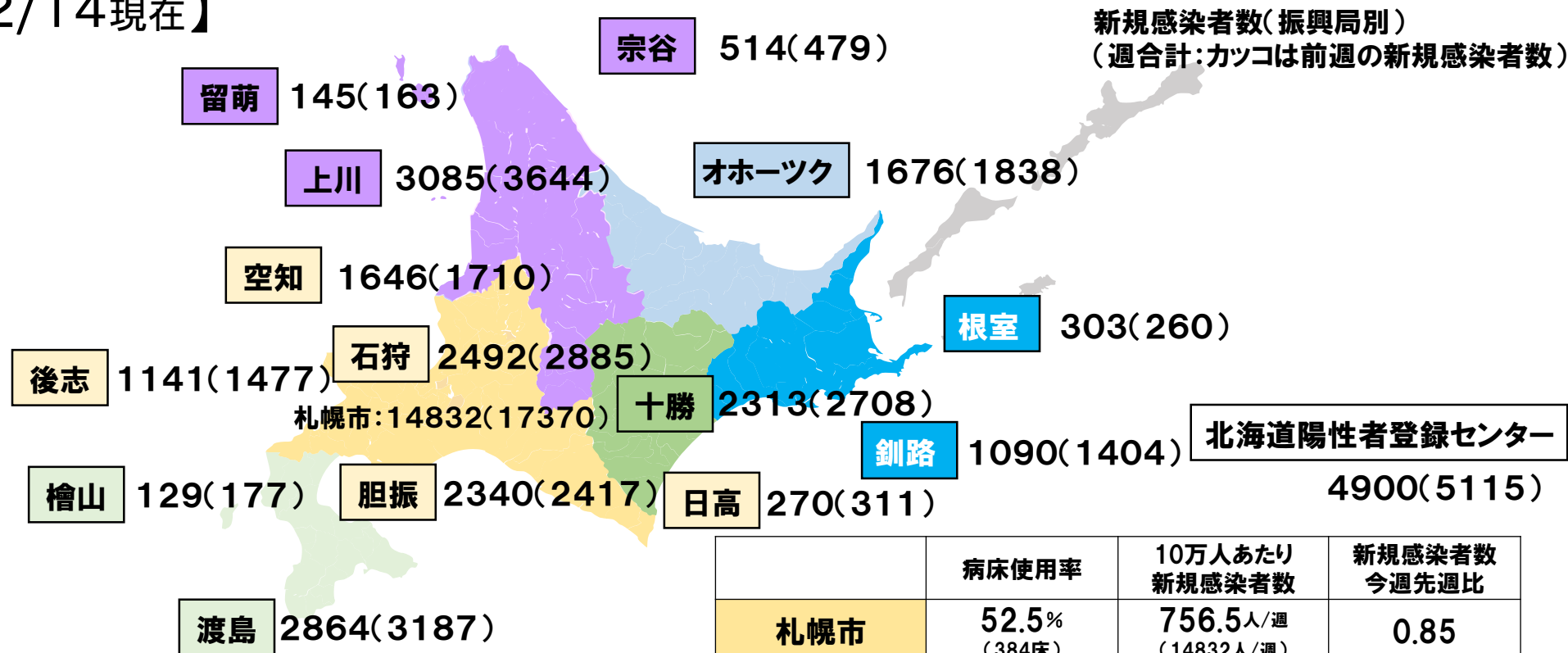
# 指標の状況

12/14		指標		(参考)		
		レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	新規 感染者数 今週先週比
全道		2	49.7% (1135床) ↓	11.2% (13床) ↑	766.6人/週 (39740人/週) ↓	0.88 ↓
札幌市		2	52.5% (384床) ↓	12.2% (6床) ↑	756.5人/週 (14832人/週) ↓	0.85 ↓
札幌市を 除く地域		2	48.4% (751床) ↓	10.4% (7床) →	772.8人/週 (24908人/週) ↓	0.90 ↓
レベル1			0～30%	—	レベル1・2については病床使用率、レベル3・4については病床使用率・重症病床使用率の指標によることとし、事象も勘案するなど、総合的に判断	
レベル2			30～50%	—		
レベル3			50～80%	50～80%		
レベル4			80%～	80%～		

※( )は実数。各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

# 地域における指標の状況

【12/14現在】



※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、振興局別(圏域別)の新規感染者数は届出があった医療機関の所在地別となっている。

※北海道陽性者登録センター分は地域別の内訳が把握できないため、各圏域の新規感染者数には含まれていない。

	病床使用率	10万人あたり 新規感染者数	新規感染者数 今週先週比
札幌市	52.5% (384床)	756.5人/週 (14832人/週)	0.85
道央圏 (札幌市除く)	55.1% (274床)	590.0人/週 (7889人/週)	0.90
道北圏	52.7% (176床)	643.8人/週 (3744人/週)	0.87
道南圏	44.8% (100床)	728.0人/週 (2993人/週)	0.89
十勝圏	46.8% (80床)	696.9人/週 (2313人/週)	0.85
オホーツク圏	29.6% (40床)	622.2人/週 (1676人/週)	0.91
釧路・根室圏	42.0% (81床)	477.1人/週 (1393人/週)	0.84

# 総評 ①

## 【全国の状況】

- 全国では、新規感染者数の増加傾向が続いている。国の専門家からは、今後、多くの地域で増加傾向が見込まれる一方で、北海道では減少傾向の継続が予測されている、と指摘されている。

※参考：12月14日、新規感染者数先週比 山形1.04、東京1.20、大阪1.33、福岡1.62（北海道調べ）

## 【医療提供体制】

- 病床使用率については、減少傾向に転じ49.7%となっている。また、札幌市についても同様に52.5%となっている。地域においては、道央圏（札幌市除く）、道北圏で高い水準となっている。重症病床使用率は11.2%と横ばいが続いていたが、増加している。

## 【感染状況】

- 新規感染者数は、人口10万人当たりでは766.6人と減少傾向が続いており、直近の最多である11月22日から約3割の減少となっている。年代別では、引き続き、30代以下の割合が約5割となっているほか、60代以上が2割を超えている。
- なお、季節性インフルエンザについて、国の専門家からは、全国では例年の同時期よりも低い水準にあるものの、直近2年間の同時期より高く微増している、と指摘されている。

※全道のインフルエンザ定点報告 11/28～12/4 実数 4人 1定点当たり 0.02人

（ 流行入りの目安 " 229人以上 " 1.0人以上 ）

\*保健所管内ごとに定点医療機関数は異なるため、流行入りの実数はそれぞれ異なる  
定点報告の詳細は北海道感染症情報センターHPを参照

# 総評 ②

## 【今後の対策】

- 現在、新規感染者数、病床使用率は減少傾向となっているが、これから年末年始を迎え、人との接触機会が増えていく。本年1月には、道内でオミクロン株が初確認され、その後、置き換わりが進む中で感染が急拡大した経緯も踏まえ、帰省や旅行など、この時期に感染リスクが高まる場面における行動を道民の皆様や事業者の方々に呼びかけるとともに、オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種の検討などを働きかけていく。併せて、保健・医療提供体制の確保・充実に取り組むとともに、ゲノム解析によりBQ.1系統などの亜系統の動向を監視していく。～別紙：スライド⑳～参照

※12月15日現在 BQ.1系統及びBQ.1.1系統の検出状況 道立保健所管内1件、札幌市5件 計6件

- 保健医療提供体制の確保に向け、引き続き、年末年始の体制確保を働きかける。また、確保病床の各医療機関における意向確認については、現行の病床数は維持・確保できる見込みで調整を進めており、引き続き、専門家や関係団体のご意見を伺いながら、近く、確保病床数を取りまとめの上、今月中に病床確保計画の見直しを行う。
- 医療機関、高齢者施設等の集団感染に対応するため、道広域支援チームとともに、日本DMAT等にご協力いただき、11月9日から12月2日までの間、急速な感染拡大がみられた釧路・オホーツク・留萌圏域の延べ100を超える施設において支援を行った。今後とも、WEB会議等を通じ、助言をいただく。

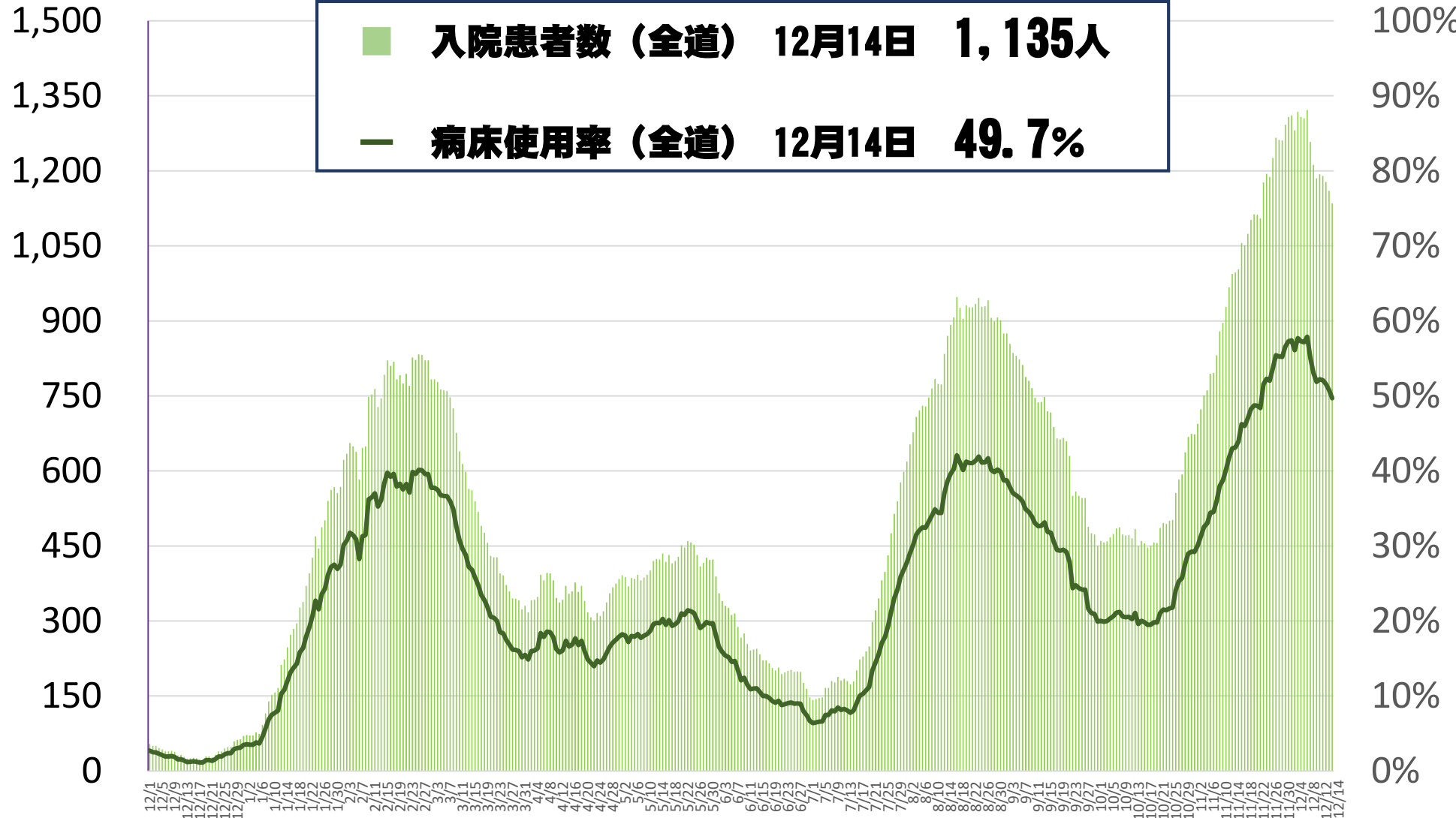
## 総評 ③

- 無料検査事業については、1月末まで期間を延長する。また、帰省や旅行など移動が活発となる年末年始に向け、全道8ヶ所の主要な駅・空港における検査の利用について、積極的に周知する。
- 経口治療薬(ゾコーバ)については、12月15日から登録可能施設の範囲が拡大された。道内の多くの医療機関等の登録に向け、調整を進める。
- ワクチン接種については、年内に希望する方全員がオミクロン株対応ワクチンを接種いただけるよう、12月15日、経済団体に企業への働きかけを依頼する。また、若年層のワクチン接種については、教育機関とも連携し、冬休み前、冬休み期間中の接種の検討について呼びかける。
- 北海道ワクチン接種センターについては、年明け以降もオミクロン株対応ワクチンの接種体制を市町村とともに確保していくため、接種回数を拡充した上で期間を延長する。併せてノババックスワクチンについても期間を延長し、接種を推進していく。
- 新型コロナウイルスの感染症法上の取扱いについては、現在、国の専門家において、病原性や感染力等の評価に関する議論が進められているほか、国の分科会においても特措法との関係などが議論されたところ。引き続き、こうした議論の状況を注視し、情報収集を進めるとともに、全国知事会とも連携し、地域の実情を国に伝えるなど、必要な働きかけを行う。

# 入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

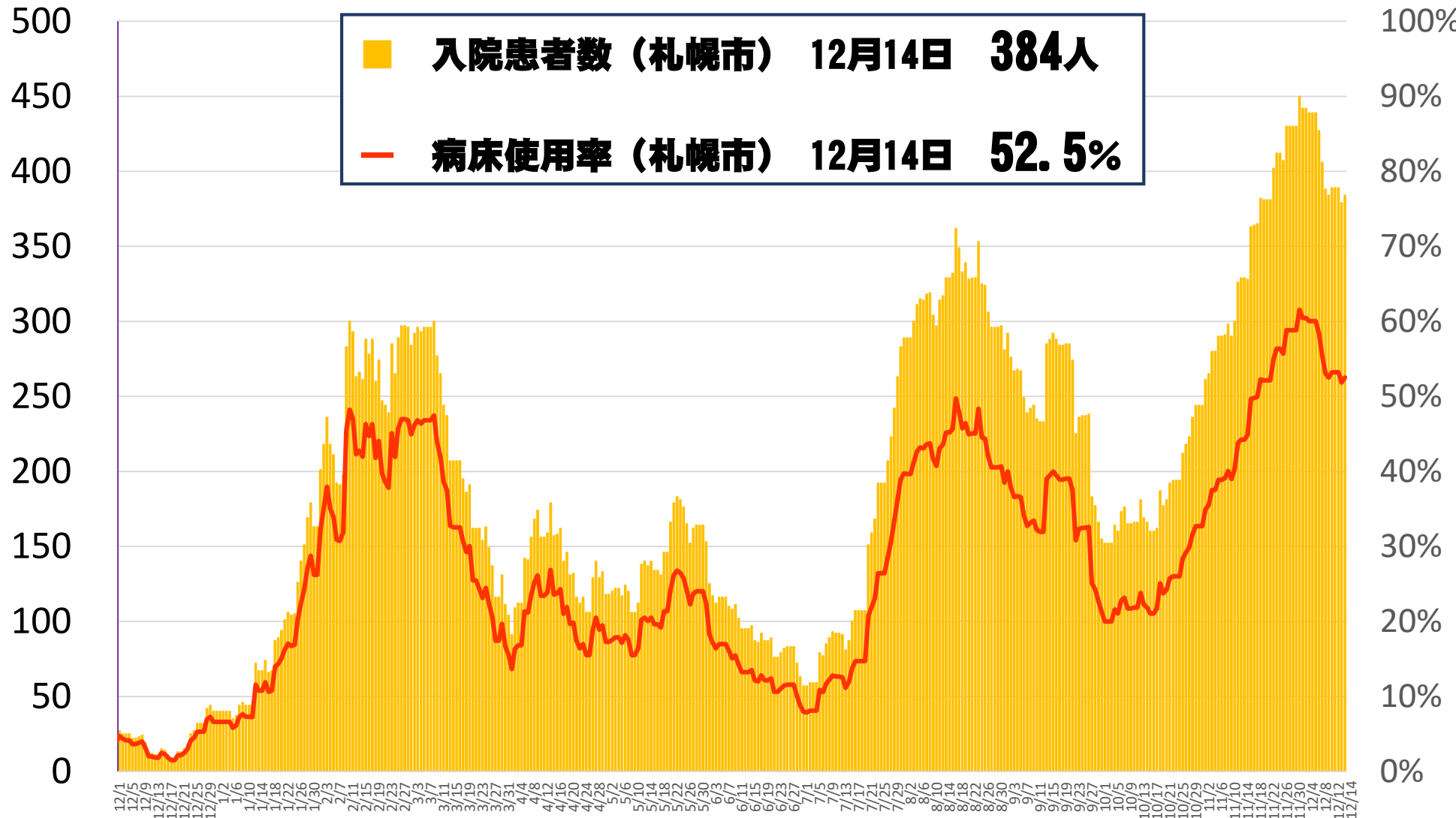
病床使用率



# 入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率





# 入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

1,000

900

800

700

600

500

400

300

200

100

0

■ 入院患者数（札幌市を除く地域） 12月14日 751人  
— 病床使用率（札幌市を除く地域） 12月14日 48.4%

病床使用率

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

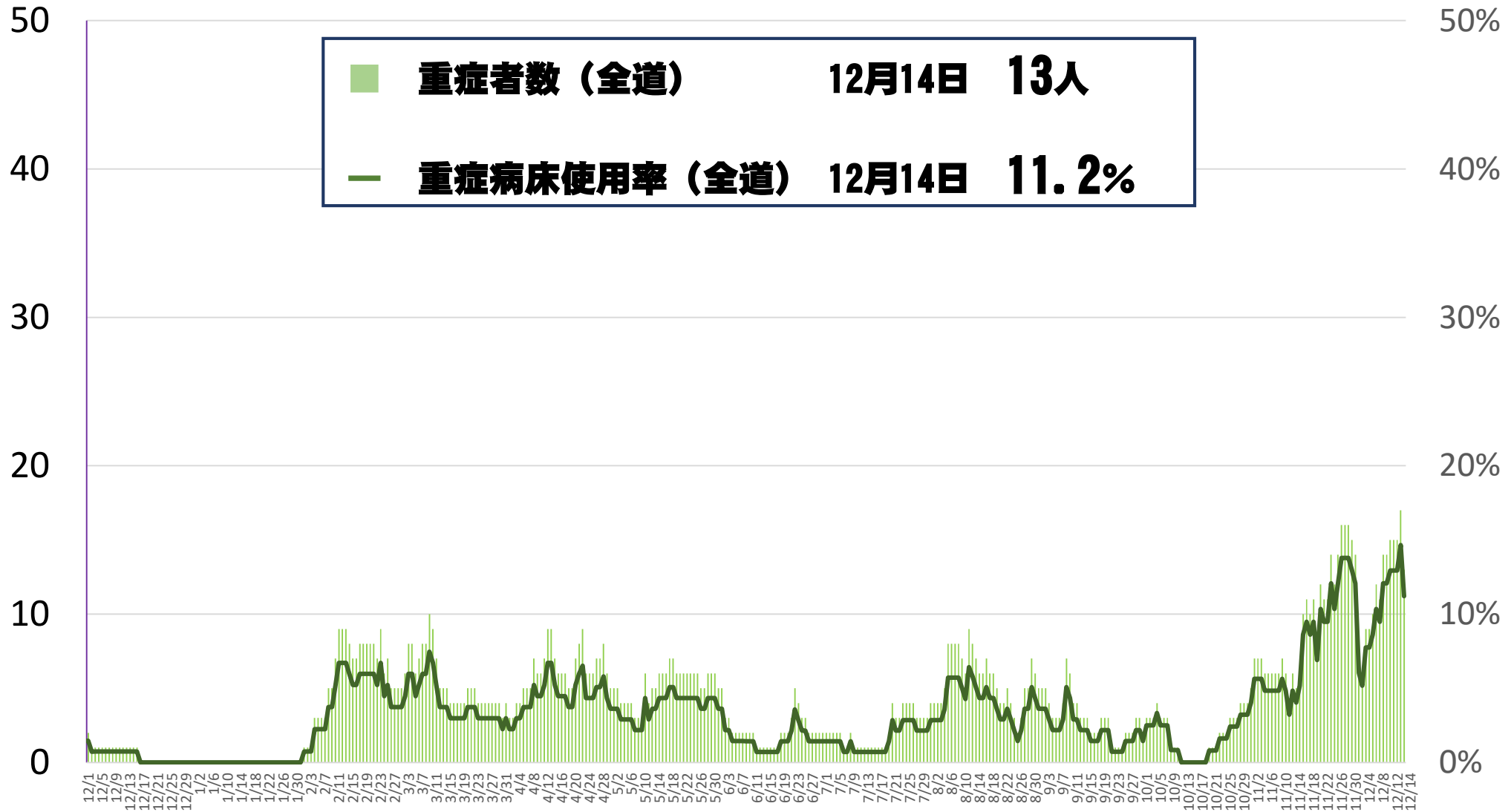
0%

12/1 12/5 12/9 12/13 12/17 12/21 12/25 1/2 1/6 1/10 1/14 1/18 1/22 1/26 1/30 2/3 2/7 2/11 2/15 2/19 2/23 2/27 3/1 3/5 3/9 3/13 3/17 3/21 3/25 3/29 4/2 4/6 4/10 4/14 4/18 4/22 4/26 4/30 5/4 5/8 5/12 5/16 5/20 5/24 5/28 6/1 6/5 6/9 6/13 6/17 6/21 6/25 6/29 7/3 7/7 7/11 7/15 7/19 7/23 7/27 7/31 8/4 8/8 8/12 8/16 8/20 8/24 8/28 9/1 9/5 9/9 9/13 9/17 9/21 9/25 9/29 10/3 10/7 10/11 10/15 10/19 10/23 10/27 10/31 11/4 11/8 11/12 11/16 11/20 11/24 11/28 12/1 12/5 12/9 12/13 12/17 12/21 12/25 12/29

# 重症者数と重症病床利用率（全道）

重症者数（人）

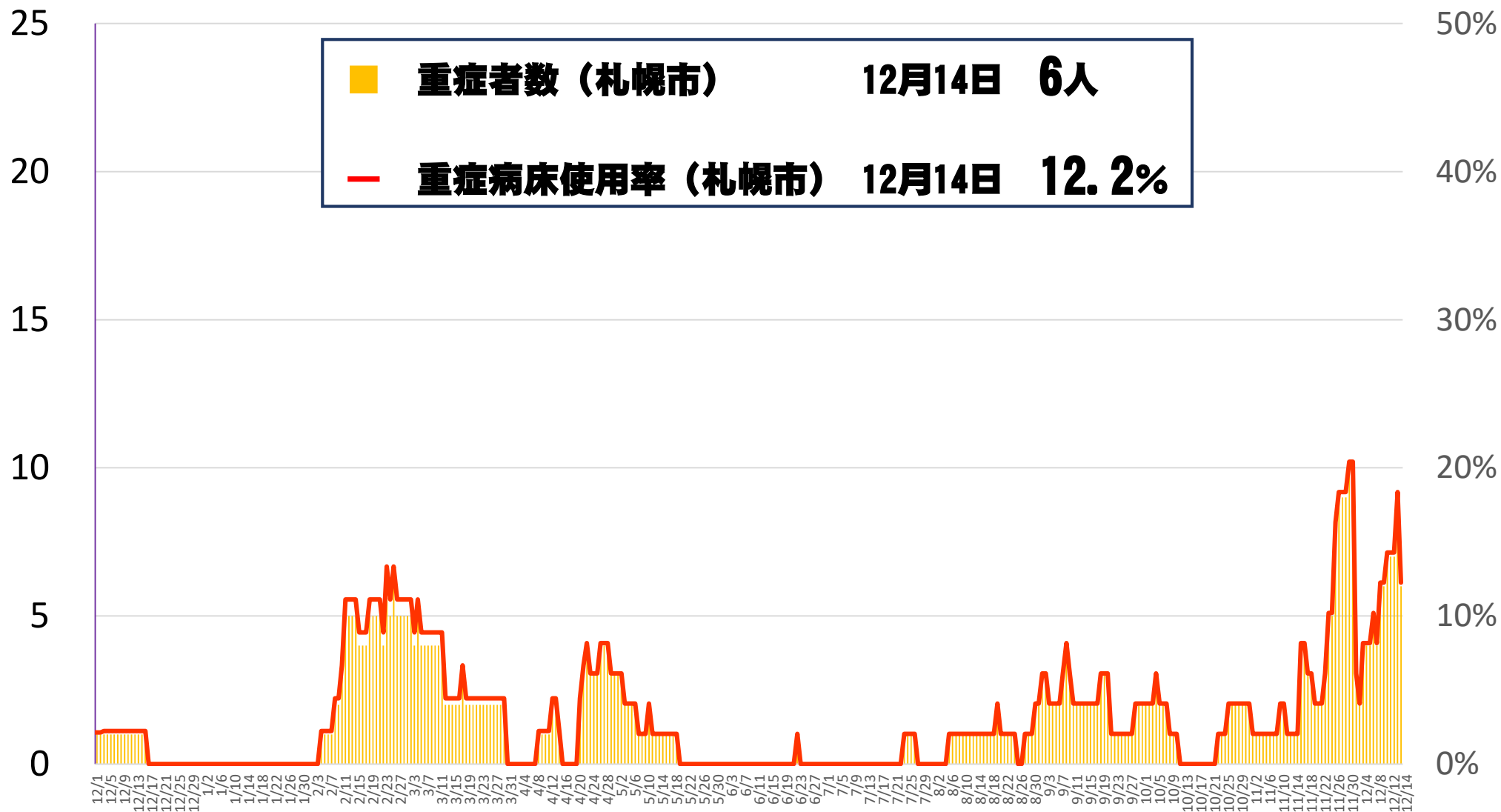
病床利用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

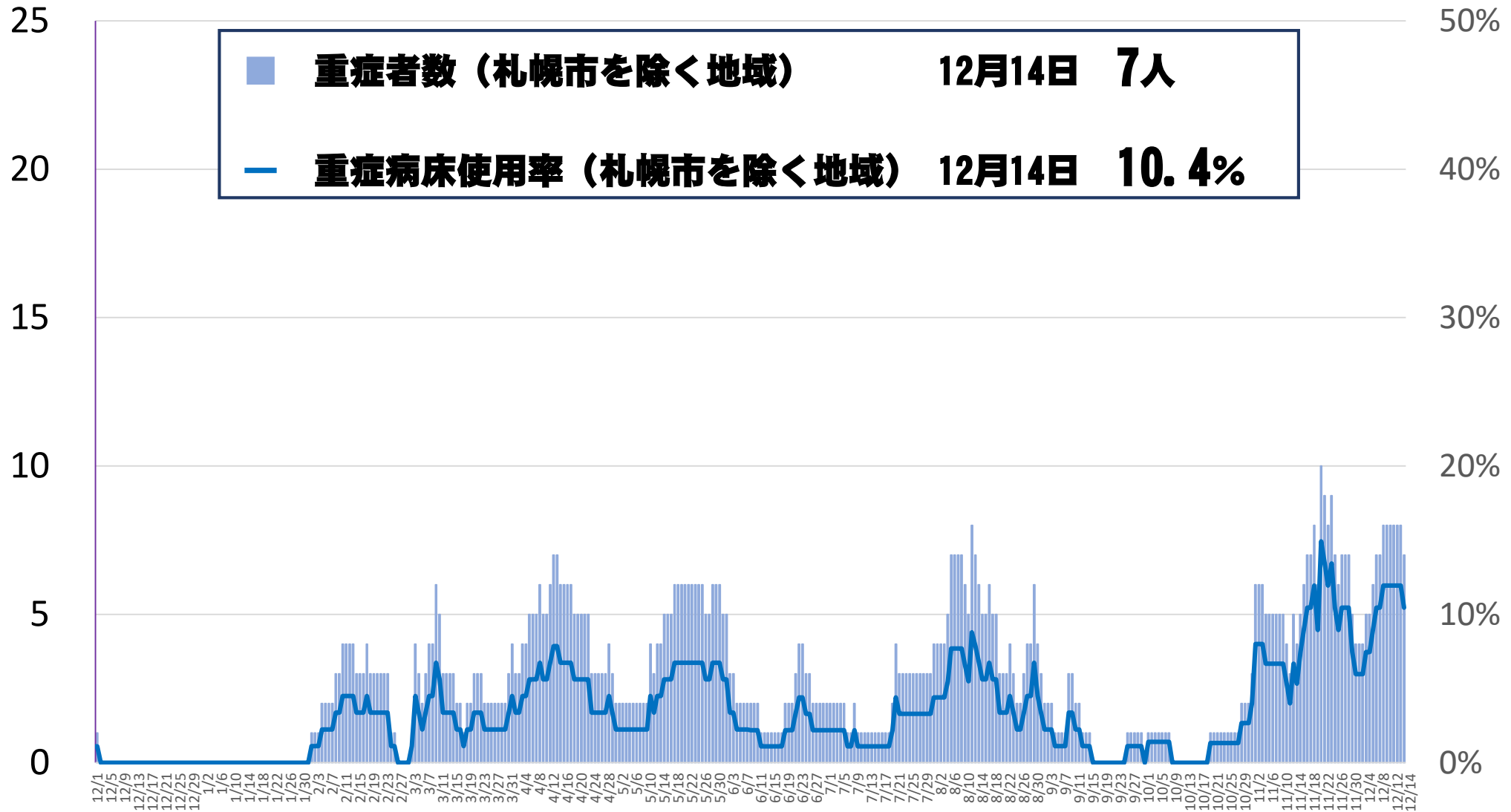
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

病床使用率

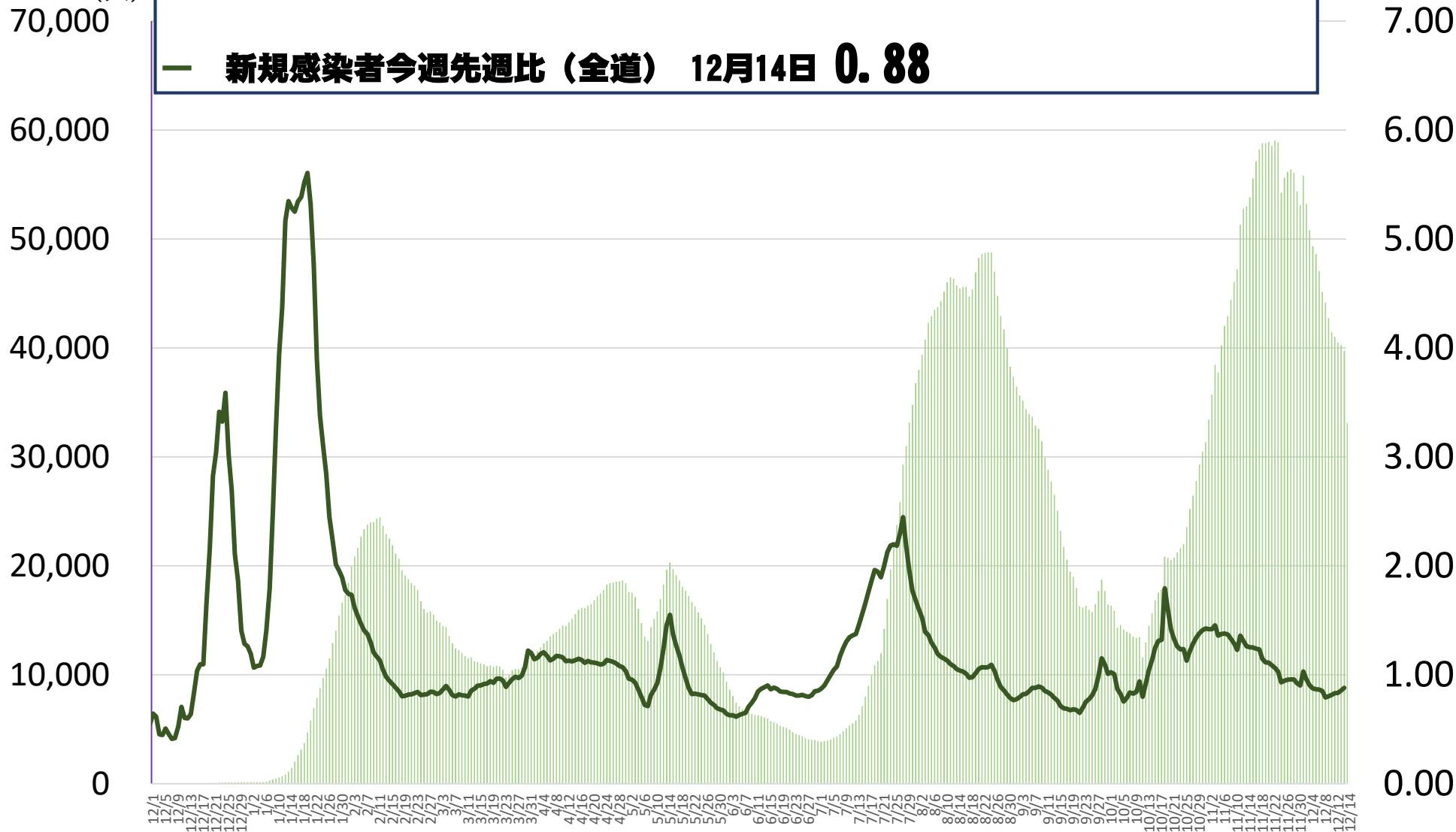


# 新規感染者数（全道）

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

■ **新規感染者数（全道） 12月14日 39,740人（10万人あたり766.6人）**  
— **新規感染者今週先週比（全道） 12月14日 0.88**

新規感染者  
今週先週比

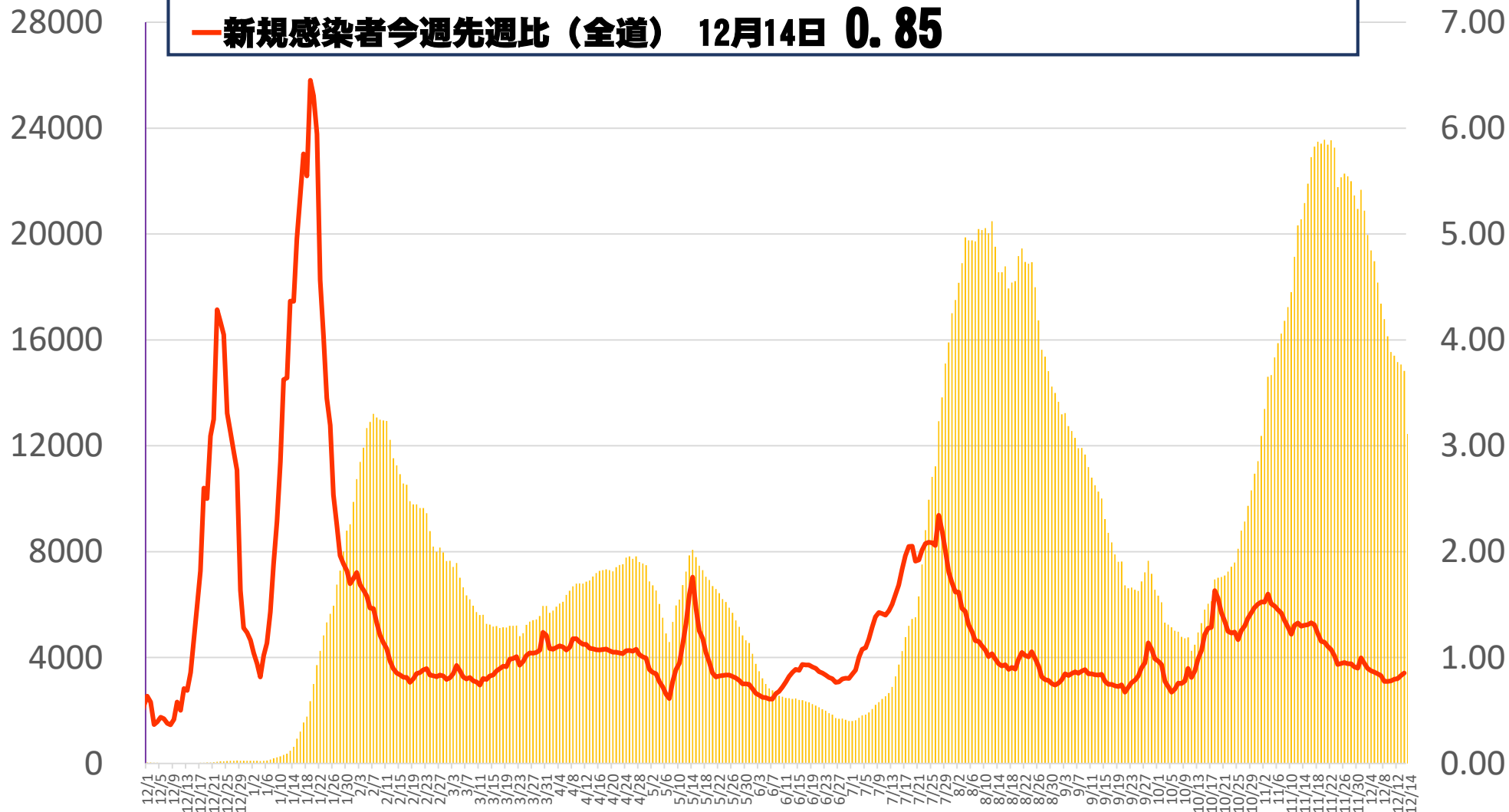


# 新規感染者数（札幌市）

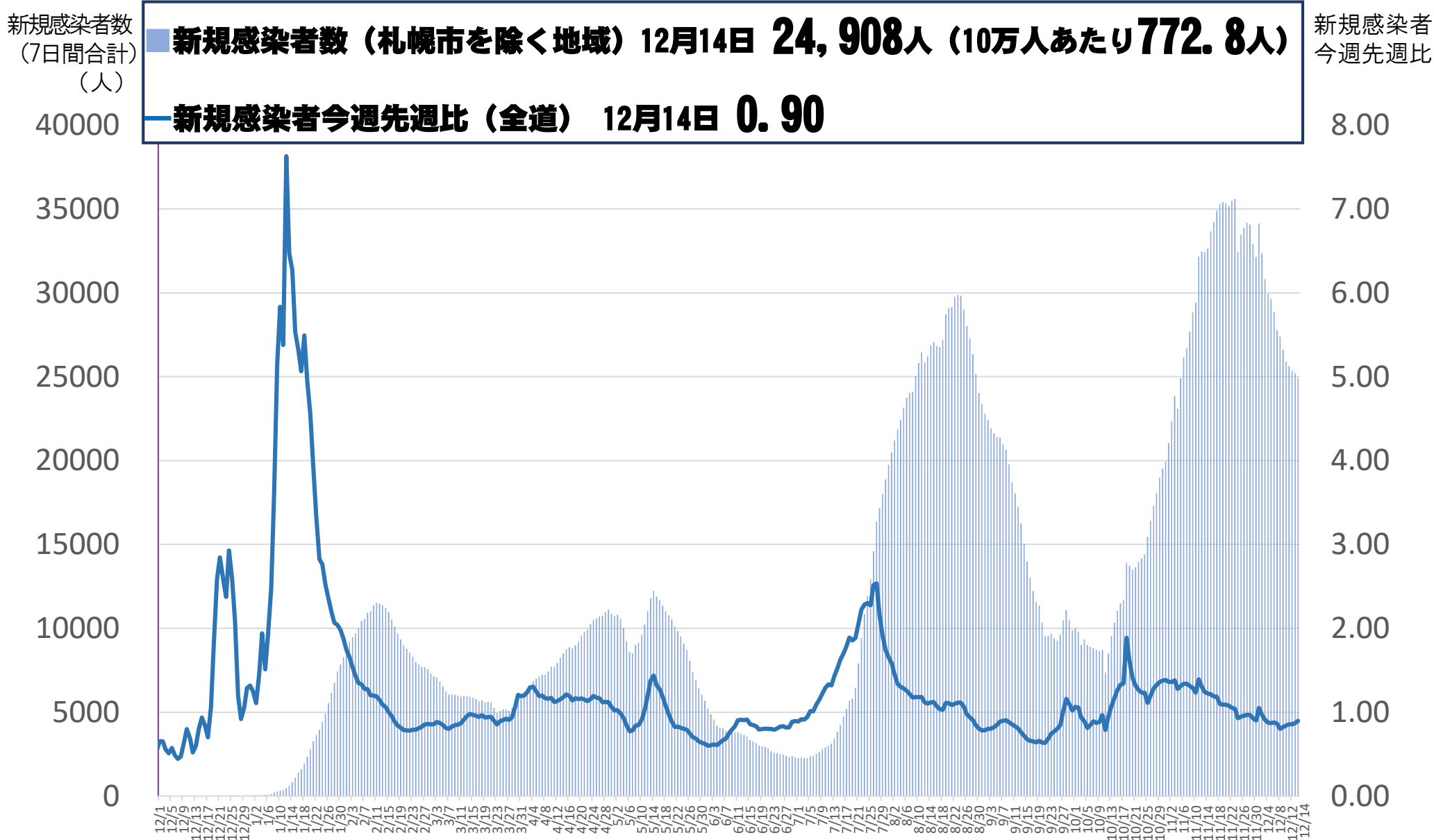
新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

■ **新規感染者数（札幌市）** 12月14日 **14,832人**（10万人あたり**756.5人**）  
— **新規感染者今週先週比（全道）** 12月14日 **0.85**

新規感染者  
今週先週比



# 新規感染者数（札幌市を除く地域）



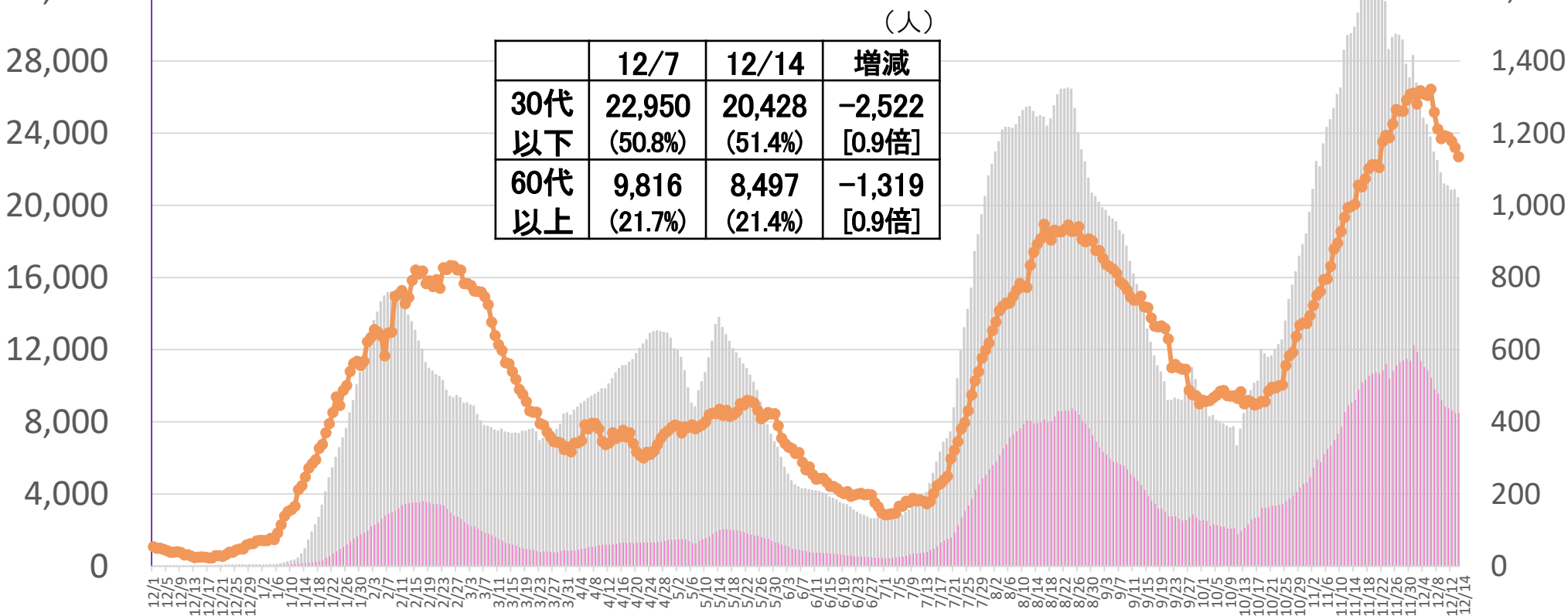
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)  
(7日間合計)

■	<b>30代以下の新規感染者数(全道)</b>	12月14日	<b>20,428人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数(全道)</b>	12月14日	<b>8,497人</b>
—	<b>入院患者数(全道)</b>	12月14日	<b>1,135人</b>

入院患者数  
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

	12/7	12/14	増減	(人)
10代	5,981 (13.2%)	5,631 (14.2%)	-350 [0.9倍]	

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)



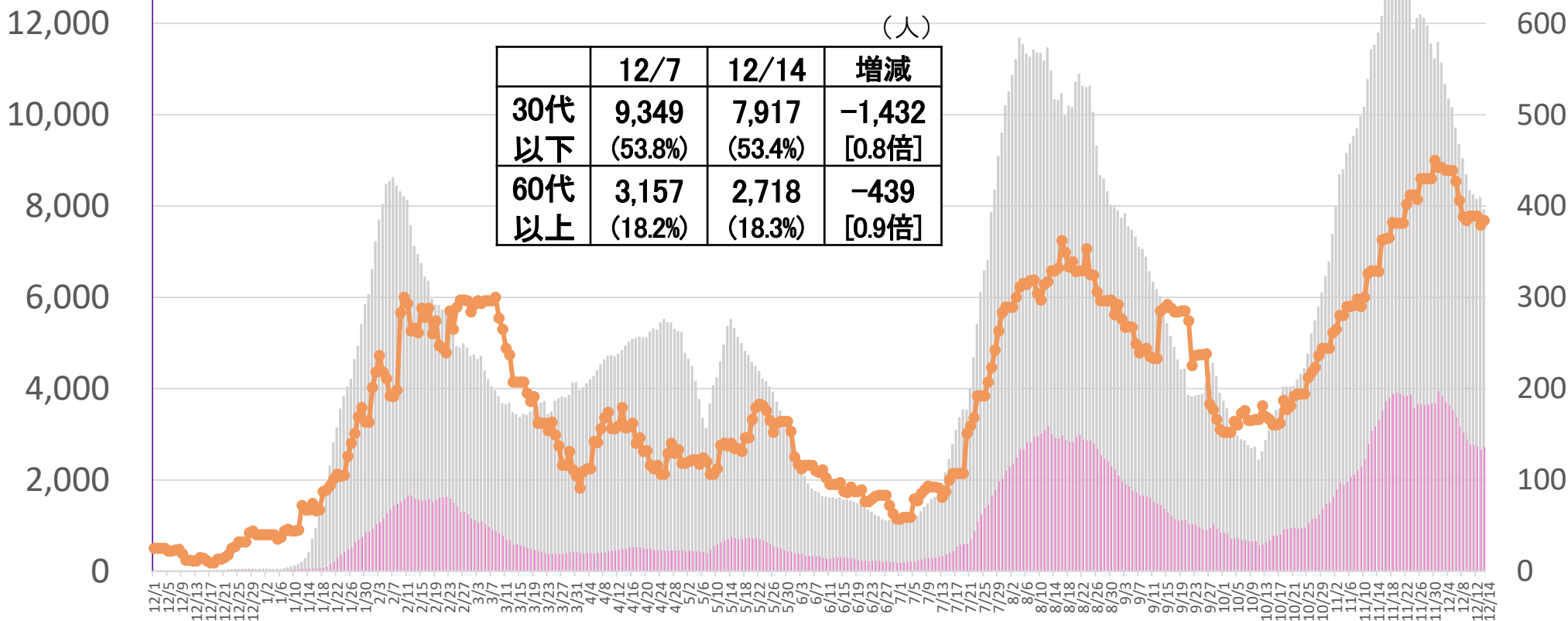
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

入院患者数  
(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市)	12月14日	<b>7,917人</b>
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市)	12月14日	<b>2,718人</b>
— 入院患者数 (札幌市)	12月14日	<b>384人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



	12/7	12/14	増減
30代以下	9,349 (53.8%)	7,917 (53.4%)	-1,432 [0.8倍]
60代以上	3,157 (18.2%)	2,718 (18.3%)	-439 [0.9倍]

(参考) (人)

	12/7	12/14	増減
10代	2,311 (13.3%)	2,030 (13.7%)	-281 [0.9倍]

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

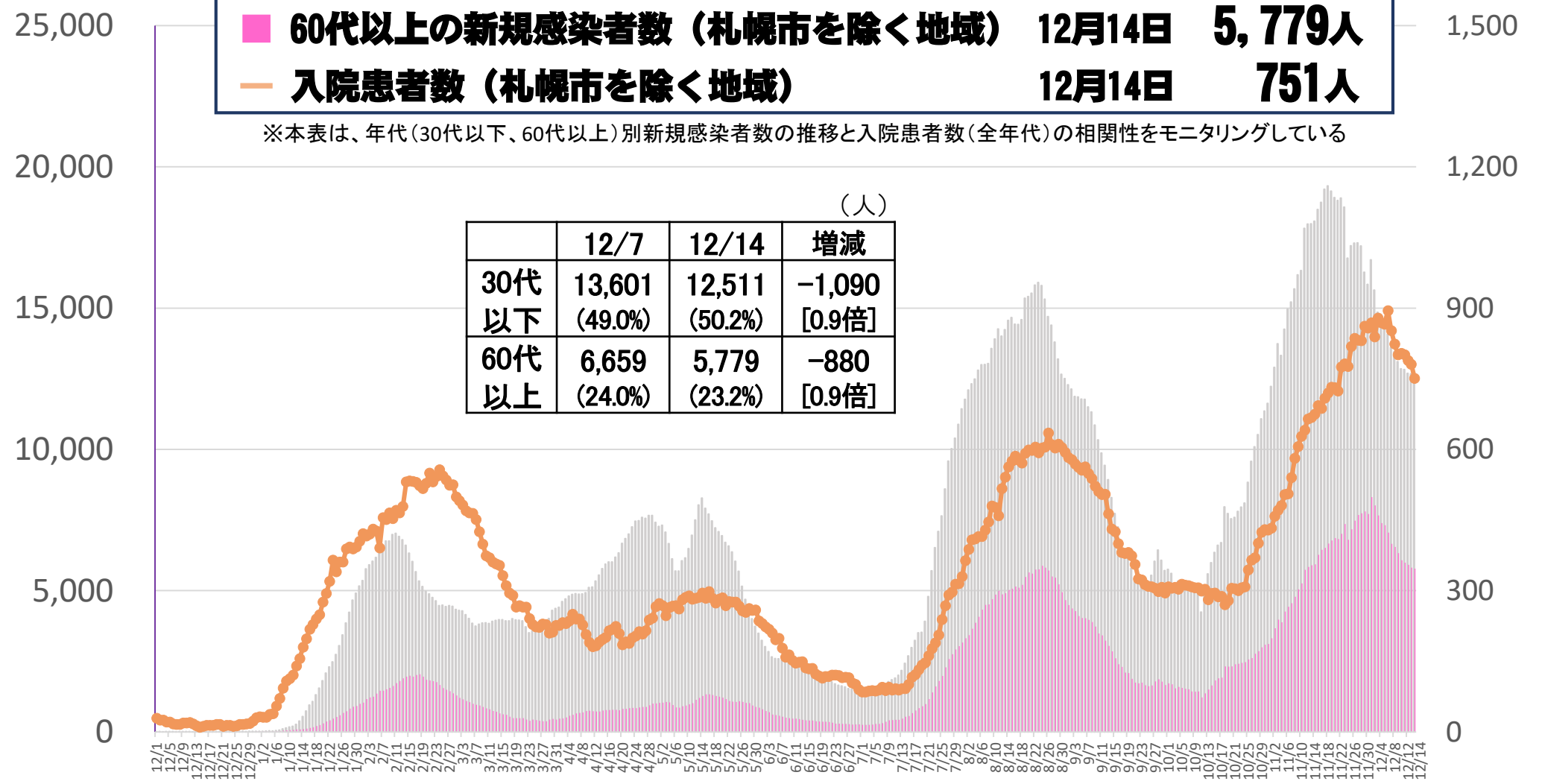
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数  
(7日間合計)(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	12月14日	12,511人
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	12月14日	5,779人
— 入院患者数 (札幌市を除く地域)	12月14日	751人

入院患者数  
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



	12/7	12/14	増減
30代以下	13,601 (49.0%)	12,511 (50.2%)	-1,090 [0.9倍]
60代以上	6,659 (24.0%)	5,779 (23.2%)	-880 [0.9倍]

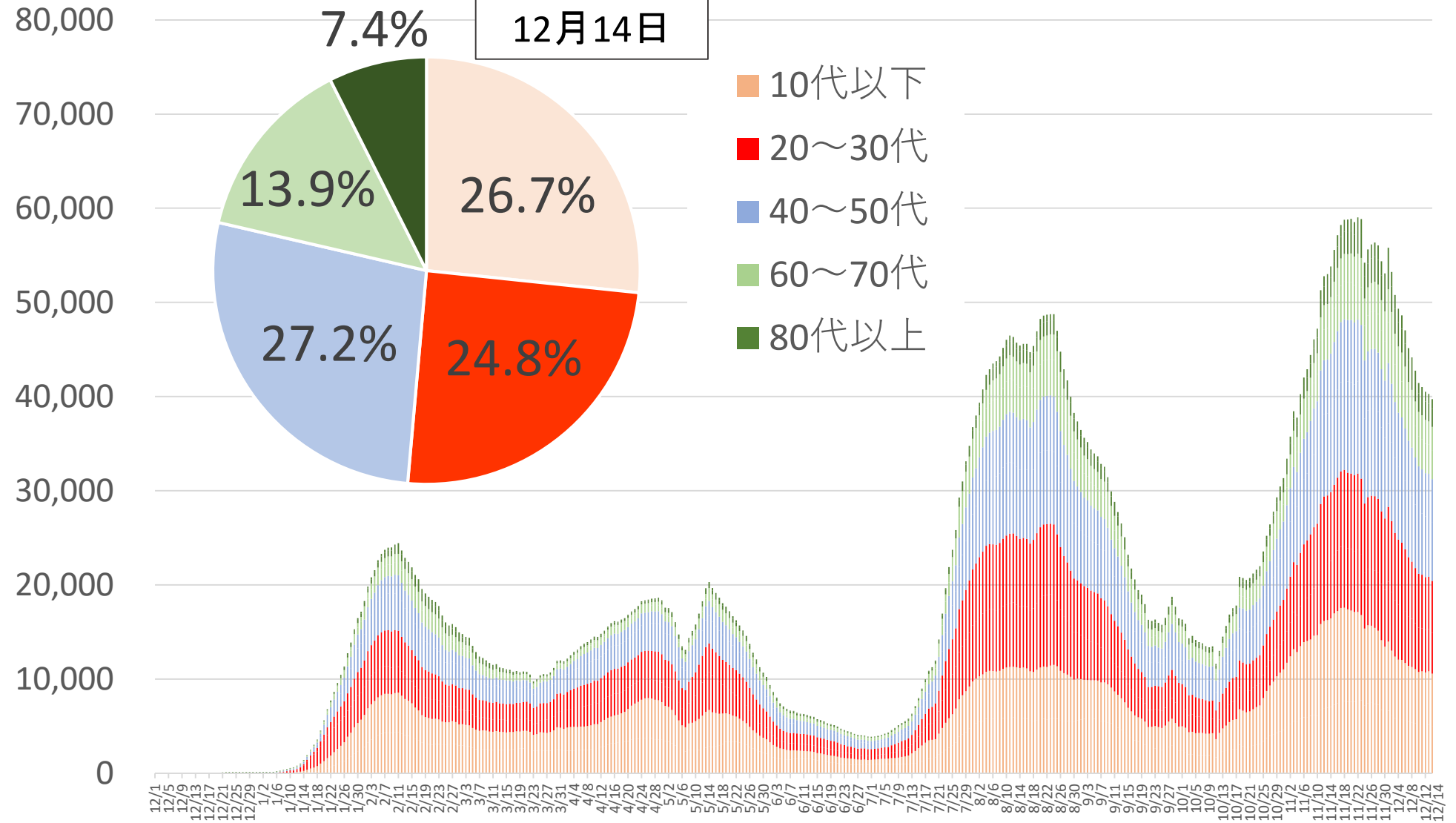
(参考)

	12/7	12/14	増減
10代	3,670 (13.2%)	3,601 (14.5%)	-69 [1.0倍]

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

# 年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)  
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

# 集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	11/24~30			12/1~7			12/8~14		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	194件	34件	160件	137件	23件	114件	130件	24件	106件
札幌市	39件	—	39件	25件	—	25件	14件	—	14件
札幌市を除く地域	155件	34件	121件	112件	23件	89件	116件	24件	92件

※令和4年9月26日以降、集団感染については、発生時以降の増加人数を公表していないため、件数のみを掲載している。

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

## 1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。12/13現在)

### <オミクロン株対応ワクチン接種の状況>

区分	接種者数	接種率	<参考> 区分	接種者数	接種率
北海道	1,426,533	27.5%	全国	34,150,631	27.1%
うち65歳以上	659,469	39.4%	うち65歳以上	15,755,776	43.9%

### <接種回数毎の接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目		3回目		4回目		5回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,347,668	83.9%	4,284,167	82.6%	3,617,680	69.8%	2,393,813	46.2%	642,194	12.4%
うち65歳以上	1,579,181	94.3%	1,575,103	94.1%	1,521,446	90.9%	1,370,229	81.8%	550,371	32.9%
うち小児	59,701	22.2%	56,644	21.1%	19,104	7.1%	—	—	—	—

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない。また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

# 新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 2 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー (乳幼児用)	ファイザー (小児用)	ファイザー	モデルナ	ハバックス	ファイザー (BA.1、BA.4/5)	モデルナ (BA.1、BA.4/5)
ワクチンの種類	従来株				オミクロン株対応2価		
	m-RNA				組換えタンパク	m-RNA	
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	—	—
初回接種 (3回目)	1回 (55日間隔)	—	—	—	—	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	—	—	—	—	—	—
追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> <b>いずれかのワクチンを1回接種</b> </div>		
対象者	—	5歳以上 11歳以下	12歳以上	<b>12歳以上</b>			
追加接種 (4回目)	—	—	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	初回接種を完了した18歳以上の方が対象で1回接種	初回接種を完了した12歳以上の方が対象で1回接種	初回接種を完了した <b>12歳以上</b> の方が対象で1回接種
対象者	—	—	60歳以上や 基礎疾患等	60歳以上や 基礎疾患等			
追加接種 (5回目)	—	—	—	—	前回接種から 6ヶ月間隔	前回接種から 3ヶ月間隔	前回接種から 3ヶ月間隔
対象者	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	12歳以上は、 <b>12月14日から</b>	—	—	12歳以上は、 <b>12月14日から</b>

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 3 北海道ワクチン接種センター(今後の体制)

- 特例臨時接種期間の令和5年3月までワクチン接種センターの設置を継続し、オミクロン株対応ワクチン及びノババックスワクチンの接種体制を維持し、全道民を対象に接種の機会を確保する。

接種会場		ホテルエミシア札幌(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目)							
使用ワクチン		オミクロン株対応ワクチン(ファイザー)			ノババックスワクチン				
対応接種回数	令和4年秋開始接種			初回接種		令和4年秋開始接種			
	3回目	4回目	5回目	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	
対象年齢		初回接種を終了した12歳以上			12歳以上		18歳以上		
接種券		◆3・4・5回目用の接種券 ◆オミクロン株対応ワクチン用接種券			1～5回目用の接種券				
接種期間		令和5年1月14日～3月25日の延べ18日間			令和5年1月15日～3月26日の延べ6日間				
実施日	1月	14日(土)、21日(土)、22日(日)、28日(土)			15日(日)、29日(日)				
	2月	4日(土)、5日(日)、11日(土・祝)、18日(土)、19日(日)、23日(木・祝)、25日(土)			12日(日)、26日(日)				
	3月	4日(土)、5日(日)、11日(土)、18日(土)、19日(日)、21日(火・祝)、25日(土)			12日(日)、26日(日)				
接種体制		1日当たり、360名			1日当たり、240名				
		協力機関:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等							
予約開始		令和4年12月16日(金)10:00～1月分の予約を受付							
予約受付		WEB:道のホームページからアクセス   北海道 ワクチン 予約 <input type="button" value="検索"/> 電話:050-3851-0181(専用コールセンター) 受付時間:10:00～18:00(土・日・祝日含む)							





# 年末年始における感染拡大防止に向けて

令和4年12月15日 北海道

高い感染レベルが続く中、年末年始には人との接触機会が増えることから、医療のひっ迫を回避し社会経済活動をできる限り維持していくよう、この時期に感染リスクが高まる場面における行動について、道民の皆様や事業者の方々に呼びかけを行う。

## 道民の皆様にお願ひする3つの場面と5つの行動

帰省・旅行等の移動	<ul style="list-style-type: none"><li>① 年末年始は混雑する場所が多くなることから基本的な感染対策を再徹底（三密回避、手洗い等の手指衛生、適切なマスクの着脱等）</li><li>② 帰省前及び帰省先から戻った際の検査</li></ul>	屋内等では、室内温度に留意し十分な換気を実施
飲食	<ul style="list-style-type: none"><li>③ 大声や長時間の回避、会話する際のマスク着用</li></ul>	
普段会わない高齢者等と会う	<ul style="list-style-type: none"><li>④ 高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方の双方が基本的な感染対策を再徹底</li><li>⑤ 高齢者や基礎疾患のある方と接する場合の事前検査</li></ul>	

ワクチン接種	▶ オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種を検討 (接種できる時期が来ている方はできるだけ年内の接種を検討)
日頃からの備え	▶ 体温計、解熱剤、食料品、日用品、検査キットの準備 ▶ 発熱等の症状が出た場合、自己検査の実施、北海道陽性者登録センター等の活用

# 道における取組等

## 【病床の確保】

- 最大確保病床の維持・確保
- 入院患者数の推移に応じた適切なフェーズの運用

## 【季節性インフルエンザとの同時流行に備えた外来医療提供体制の整備】

- 地域の医療機関の実情に即した診療体制や「北海道陽性者登録センター」、「北海道陽性者健康サポートセンター」及び「北海道健康相談センター」における必要な体制の維持・確保
- 経口治療薬(ゾコーバ)の供給体制の確保

## 【ワクチン接種の促進】

- オミクロン株対応ワクチンを年内に希望する方全員が接種いただけるよう集中的広報の展開
- 1月以降も北海道ワクチン接種センターの設置を継続し、市町村の体制構築と併せ、広く接種機会を確保

## 【検査体制の確保等】

- 主要な交通拠点における検査体制の確保や効果的な広報の展開
- 高齢者施設等における頻回検査の実施
- ゲノム解析によるBQ.1系統等の動向を監視

## 【観光事業者や観光客への感染防止対策の働きかけ】

- 宿泊施設への感染防止対策の再点検の依頼
- 訪日外国人観光客を含めた来道者への呼びかけ

# 道民の皆様、事業者の方々へのお願い

<b>道民</b> 道内に滞在される方	<ul style="list-style-type: none"><li>○年末年始は混雑する場所が多くなることから基本的な感染対策を再徹底(三密回避、手洗い等の手指衛生、適切なマスクの着脱等)</li><li>○帰省前及び帰省先から戻った際の検査</li><li>○他の都府県への移動に際しては、基本的な対策を徹底し、移動先での感染リスクの高い行動を控える</li><li>○救急外来及び救急車の利用は、必要な場合に限る</li><li>○普段と異なる症状がある場合には、外出、出勤、登校・登園等を控えることを徹底</li><li>○飲食では、大声や長時間の回避、会話する際のマスク着用</li><li>○飲食の際は、北海道飲食店感染防止対策認証店等を利用し、飲食店等の感染防止対策に協力</li><li>○高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方の双方が基本的な感染対策を再徹底</li><li>○高齢者や基礎疾患のある方と接する場合の事前検査</li><li>○感染を疑う症状のない場合であって、感染に不安を感じる場合は、ワクチン接種の有無にかかわらず、検査を受ける<ul style="list-style-type: none"><li>・感染を疑う症状のある場合であって、診察の希望のある方、65歳以上の方、基礎疾患のある方、妊娠している方などは、かかりつけ医に連絡。かかりつけ医がない場合は「北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター」に連絡</li><li>・感染を疑う症状のある場合であって、65歳未満で症状が軽く、自己検査を希望する方などは、「北海道陽性者登録センター」に連絡し、自己検査を実施</li></ul></li><li>○オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種を検討(接種できる時期が来た際には、年内の接種を検討)</li><li>○小児ワクチン等の接種を検討</li><li>○体温計、解熱剤、食料品、日用品、検査キットの準備</li><li>○屋内等では、室内温度に留意し十分な換気を実施</li></ul>
<b>高齢者施設等</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○高齢者等と面会する際は、オンライン面会を実施するなど「介護現場における感染対策の手引き」等に基づく対応を徹底するとともに、保健所をはじめ道・市町村の関係部局と連携し、感染管理や医療に関する支援体制をより一層確保</li><li>○感染状況に応じ職員の頻回検査を行うとともに、体調管理を徹底し、体調が悪い場合には休暇を取得できる環境を確保</li><li>○感染の発生に備えた研修を実施するとともに、希望する職員のワクチン接種等が進むよう配慮</li></ul>
<b>学校</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○衛生管理マニュアルに基づき、学校教育活動等における感染防止対策を徹底し、それでもなお感染リスクが高い活動は、実施を慎重に検討</li><li>○宿泊を伴う教育活動は、感染防止対策を徹底するほか、保護者の意向や旅行先の受入の可否を確認した上で実施</li><li>○部活動は、健康状態の多重チェックなどの感染防止対策を徹底。また、対外試合等は、各団体等のガイドラインに基づき、移動・更衣等の場面も含め対策を徹底</li><li>○感染状況に応じた教職員の頻回検査等を行うとともに、希望する教職員のワクチン接種等が進むよう配慮</li><li>○大学、専門学校等では、感染防止と面接授業・オンライン授業の効果的実施等による学習機会の確保の両立に向けて適切に対応。また、校外活動等に係る感染防止対策や学生等への注意喚起を徹底</li></ul>

<b>保育所等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所における感染症対策ガイドライン等に基づき、基本的対策を徹底するとともに、発熱等の症状がある児童の登園自粛等を徹底</li> <li>○感染状況に応じ職員の頻回検査を行うとともに、体調管理を徹底し、体調が悪い場合には休暇を取得できる環境を確保</li> <li>○感染の発生に備えた研修を実施するとともに、希望する職員のワクチン接種等が進むよう配慮</li> </ul>
<b>事業者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業継続計画(BCP)の策定、点検など、事業継続に支障が起きないための必要な取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク(在宅勤務)等の推進</li> <li>・濃厚接触者でない接触者に対する出勤停止を要請しないことを周知</li> <li>・一時的に業務が実施できない場合があることやその時の対応について、事前に、住民や取引先や顧客等に示す</li> </ul> </li> <li>○業種別ガイドラインの遵守</li> <li>○人が集まる場所での適切な換気や入場者の整理など感染対策を徹底</li> <li>○飲食店において十分な換気や、座席の間隔の確保又はパーティションの設置等を行うこと</li> <li>○道の事業展開を通じた事業者と利用者双方による感染拡大防止の取組の普及・定着</li> <li>○希望する職員のワクチン接種等が進むよう配慮</li> <li>○職場等において療養開始時に検査証明を求めないことの周知</li> </ul>
<b>飲食店等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染防止対策チェックリスト項目を遵守</li> <li>○北海道飲食店感染防止対策認証制度(第三者認証制度)の認証の取得</li> </ul>

## イベントの開催

<b>感染防止安全計画</b>	<b>人数上限</b>	<b>収容率</b>	
策定なし	5,000人又は 収容定員50%以内の いずれか大きい方	大声なし	100%以内 (席がない場合は適切な間隔)
		大声あり	50%以内 (席がない場合は十分な間隔)
策定あり	収容定員まで	100%以内(大声なしが前提)	

※人数上限は、人数上限と収容率でどちらか小さい方を限度(両方の条件を満たすことが必要)

※大声とは、「観客等が通常よりも大きな声量で反復・継続的に声を発すること」で、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが大声ありに該当

※同一イベントにおいて、「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の収容率の上限は、それぞれ、50%(大声あり)・100%(大声なし)とする

※感染防止安全計画では、イベント開催時の必要な感染防止策を着実に実行するため、イベントごとに具体的な感染防止策の内容を記載(参加人数が5,000人超であって収容率50%超のイベントを対象とし、イベント開催の2週間前までの提出)

※イベントの開催制限に係る詳しい内容については、道ホームページをご覧ください